

平成 22 年度（平成 21 年度対象）

教育委員会における事務の管理及び
執行の状況の点検・評価結果報告書

[概 要 版]

平成 22 年 8 月
北茨城市教育委員会

第1章 教育委員会における事務の点検・評価制度の概要

1 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価の実施について

(根拠)

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正（平成20年4月施行）が行われ、新たに「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等」を行うことが義務付けられたことにより実施する（本年度で3年目）。

(目的)

事務の点検・評価は、同法第27条の規定に基づき、教育委員会が教育に関する事務の管理及び執行の状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、議会への提出と公表を行い住民への説明責任を果たすことを目的とする。

(対象事業)

教育委員会が前年度（平成21年度）実施した学校教育の充実や生涯学習の振興など主要な事務事業（継続・新規）を対象とする。本年度は、前年からの継続事業18事業について実施した。

(学識経験者の知見の活用)

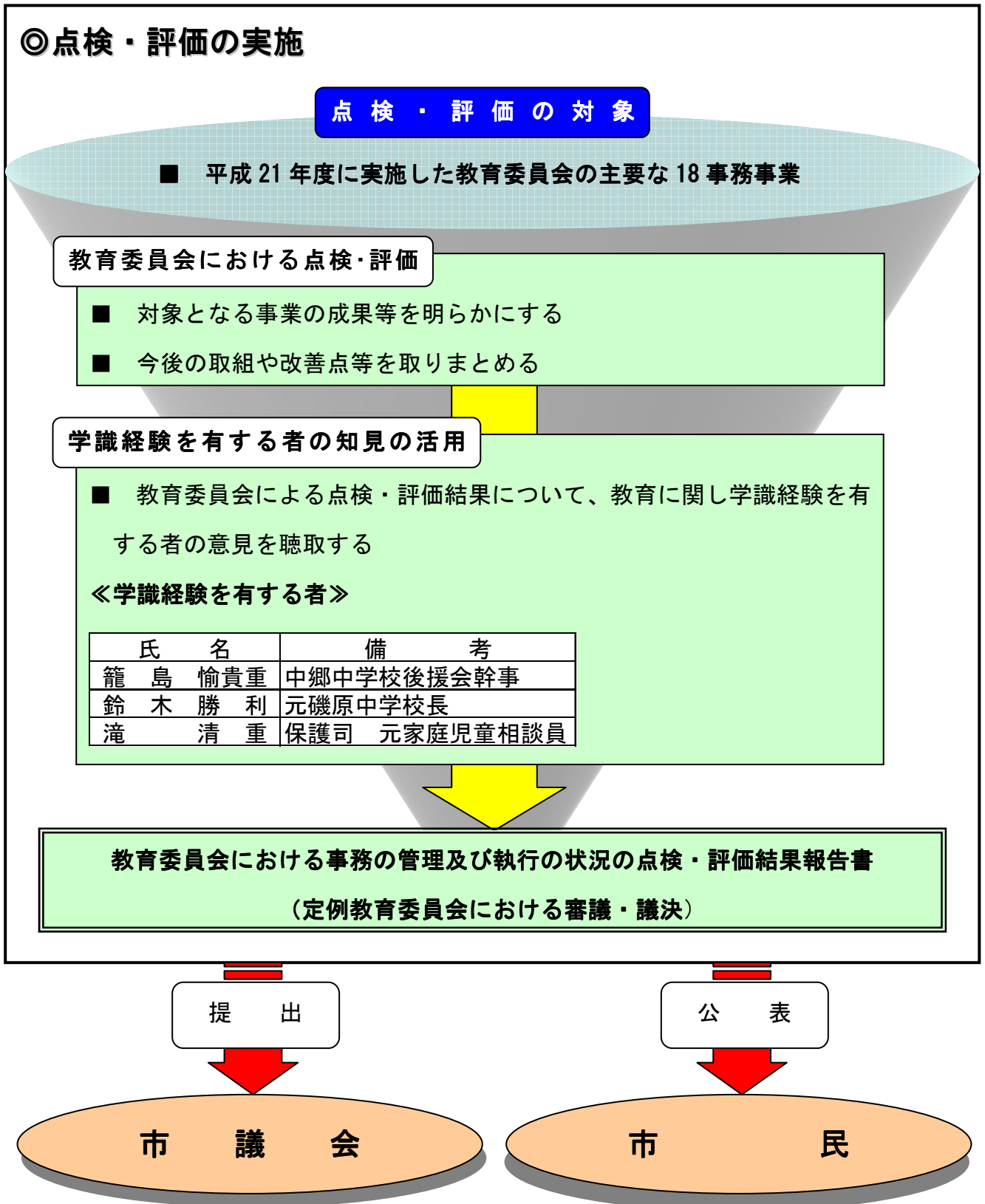
教育委員会事務局が行った点検・評価（自己評価）の結果について、市教育委員会事務事業評価懇談会設置要項に基づき会議を開催し、選任した学識経験者3名から意見を聴取した。

[地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抄）]

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。



第2章 教育委員会の活動状況

1 教育委員について

- 本市教育委員会は、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有する者のうちから、市長が市議会の同意を得て任命した5名の教育委員により構成されている。

北茨城市教育委員会委員 [平成22年4月1日現在]

| 職名 | 氏名 | 任期 |
|----------|---------|-------------------------|
| 委員長 | 宇佐美 泰 男 | 平成20年10月1日～平成24年9月30日 |
| 委員長職務代理者 | 山 名 玲 子 | 平成19年12月20日～平成23年12月19日 |
| 委員 | 中 根 教 文 | 平成18年10月5日～平成22年10月4日 |
| 委員 | 大 平 康 裕 | 平成21年4月4日～平成25年4月3日 |
| 教育長 | 松 崎 三 郎 | 平成21年12月26日～平成25年12月25日 |

2 教育委員会の活動状況について

- 平成21年度における本市教育委員会の主な活動状況は、次のとおりである。

- (1) 会議開催回数 15回
ア 定例会（毎月第3木曜日開催）……………12回
イ 臨時会（委員長が必要と認めたとき等に開催）……………1回
(2) 議案件数……………28件
(3) 専決件数*……………9件
(4) 選挙……………2件
ア 教育委員会教育委員長の選挙……………1件
イ 教育委員会教育委員長職務代理者の選挙……………1件

※ 専決件数:会議を招集する時間的余裕がない等の理由により、教育長が教育委員会に代わり処理を行った件数。

第3章 教育委員会における事務の管理及び執行の状況の点検・評価の結果

1 有識者の主な意見・要望等（抜粋）

- 教育委員会事務局による点検・評価結果について、有識者から提言された主な意見・要望等（抜粋）は次のとおりである。

- ・ 保護者の経済的負担の軽減を図る上では大変有効であり、少子化対策につながるものである。
【幼稚園就園奨励事業】
- ・ 洋式が一般化していることから、今後設置割合の拡大を図り、引き続き洋式トイレの設置を早急に進めてほしい。
【学校トイレ洋式化改修事業】
- ・ 介助員の増員が図られているが、介助を必要とする児童・生徒も増加しているので、なお一層毎日の学校生活が円滑かつ安全に送れるよう、早急な対策が必要である。
【学校生活介助員配置事業】
- ・ 受講者の固定化が進んでいると思われるので、新たな受講者の開拓に配慮し、今後も事業の継続をお願いする。
【市民大学運営事業】
- ・ 今後も、施設利用者に対し利用する上でのモラル向上の啓発に努めてほしい。
【学校施設開放事業】
- ・ 将来を担う子どもたちの健康面の一つを担う事業であり、引き続き地場産物等を活用するなど安全、安心な学校給食の提供に努めてほしい。
【学校給食提供事業】
- ・ 体育協会の強化を図り、自主開催できるような体制づくりを進めてほしい。
【市民各種大会開催事業】

2 全体評価（点検・評価に関する教育委員会としての総括的な意見）

教育委員会における事務の管理及び執行の点検・評価は、本年度で3年目となるが、前年に引き続き教育委員会が実施した主要な18事業について点検・評価（2次評価・外部評価）を行った。

- 教育委員会が昨年度実施した主要事務事業については、継続した実施が望まれるものであり、概ね公正で効果的な事業運営を行っていると思われる。
- 今後も事務事業の点検・評価を行い、学校教育・義務教育の充実と幅広い年齢層からの市民の参加機会の拡充を図りながら生涯学習やスポーツ・レクリエーションの振興に努められたい。